



◆はじめに

私ども半原教会は、6年後に教会の自立・自給を実現すべく、今年度「半原教会サポート会」を立上げました。なにを行うにしても人手が足りない状態が続く中、多くの人たちの援助を受け、目標を目指して走り始めました。

2018年1月17日現在、サポート会の会員数は、371（連名の場合も1でカウント、教会名8を含む）、会費・献金総額は約586万円（7頁の会計報告をご覧ください）です。

◆2017年度の活動計画と実施報告

2016年12月に作成、配布しましたサポート会趣意書「サポート会会員になってください」に記載した活動計画とその実施は次のとおりです。

◎教会の存在を知ってもらうために

1. 愛川町、相模原市緑区津久井に、半原教会広報「Gospel News」(B4版両面フルカラー、業者発注)を、1万部、年4回配布する。→ 新聞折込みで、計画どおり実施。



2018年1月現在、現住陪餐会員が7名、その内、諸活動に参加できる会員は4名です。当初は新聞折込みだけでなく、自分たちでも数百枚ポスティングするつもりでしたが、思ったほどできませんでした。また、執筆者にも事欠きますが、他教会員の協力を得て、季刊で発行できました。

文字を読み取ることは無理ですが、イメージだけでもお伝えできればと思い、左記に第3号1面の縮小版(1/10サイズ)を掲載します。見目が派手ということもあって、最近、近隣の人たちから「見たよ」という声を聞けるようになりました。他の号に関しては半原教会のWebページをご覧ください。

なお、広報「Gospel News」の作成・印刷、新聞折込み等の費用は、「サポート会会計」ではなく、日本キリスト教団の「伝道資金」からの援助で賄うことができました。

2. 半原教会の現在のWebサイトを、作成会社に発注し、リニューアルする。→ 作成会社ではなく個人に依頼し、リニューアルを実施。URL/hanbarachurch.jp

◎教会建物に、年間、延べ3千人が出入りするために

3. 半原教会広報「Gospel News」に記事掲載のためにも、週日、以下のActivityを開始する。(すぐに参加者、生徒が集まるとは思えませんが、活字ばかりの広報など、だれも読まない、手に取ってみることすらしないことは、すでに経験済み)

(ア) 半原カルチャーセンターを開設し、聖書公開講座(16回ワンクール、有料、1回300円、テキスト&ワンドリンク付)を開講する。→ 回数(13回)の変更のほかは計画どおり実施。なお、この講座のテキストとして、半原ブックス第1号(『スイングせよ、わが魂よ』A5版107頁)を発行し、1冊500円で販売中。

定員10名でしたが満たされず、受講者は8名。内訳は、求道者2名、教会員3名、他教会員3名です。

(イ) こどもの英語教室(外部のネイティブのプロの教師を招く：有料)を開く。→ 計画どおり実施。

Rainbow Phonics in Hanbara

レインボー・フォニックスは、こどもたちの小さな英語の学校。栗野の洗尺で英語教室を開いている、こども英語教育のプロフェッショナル、ルーシー・飯田さんの半原教室です。

対象：幼稚園児～小学校3年生
日時：基本、第2日曜日 14:00~15:00(50分間)
Mom's lesson お母さんレッスン(10分間)

今回は、2018年 2月18日(日)14:00

※現在、定員一杯で、入学申込みは受け付けておりません。申し訳ありませんが、退会者が出るまで、お待ちください。

すぐに定員(8名)が一杯になりました。入学したのは、皆近隣のこどもたちです。保護者だけでなく、3歳未満の弟妹たちも一緒に通ってきます。地域との接点として今後いろいろな可能性を感じさせてくれます。

(ウ) 教会堂、牧師住宅の壁面に、趣意書トップのイラスト(新谷はるか氏作、Christian Family)をAOサイズ6枚のボードにして掲示する。→ 場所を駐車場に変更したほかは、計画どおり実施。

こども英語教室を開くにあたり、目印になる物と考え、いち早く昨年の3月に製作・設置しました。嬉しいことに、今では半原教会のイメージ・イラストになっています。

